

きづがわしの水道

～安心・安全な生活と快適な暮らしを支える水道～

平成28年度水道事業会計 決算の概要



タツタタワー木津川市

収益的収支・税込

(単位:万円)

項目	平成28年度 決算	平成27年度 決算	比較
収入	水道料金	121,375	119,071
	手数料	608	653
	下水道負担金	6,538	6,914
	他会計負担金	1,321	1,350
	財政調整基金繰入金	13,500	14,000
	長期前受金等戻入額	28,923	29,468
	その他(広告収入等)	531	511
計		172,796	171,967
支出	職員人件費	15,390	15,206
	動力費	11,422	12,240
	薬品費	457	431
	受水費	43,296	43,358
	検針委託料	2,284	2,170
	修繕料	5,735	5,414
	支払利息	2,115	2,248
	減価償却費	70,479	70,475
	貸倒引当金	998	1,038
	その他(施設維持費等)	14,956	15,968
	計	167,132	168,548
	差引	5,664	3,419
		2,245	

資本的収支・税込

(単位:万円)

項目	平成28年度 決算	平成27年度 決算	比較
収入	加入金	14,195	14,742
	工事負担金	3,955	8,116
	一般会計出資金	2,957	892
	国庫補助金	402	177
	開発分担金等	61,119	5,464
	計	82,628	29,391
支出	建設改良費	44,924	35,475
	企業債償還金	3,944	3,814
	財政調整基金積立金	61,119	5,464
	計	109,987	44,753
差引		△ 27,359	△ 15,362
		△ 11,997	

※資本的収支の差額は、過年度留保資金等で補てんしています。

業務量

項目	平成28年度	平成27年度	比較
年度末給水人口(人)	73,919	72,901	1,018
年度末給水戸数(戸)	28,498	27,833	665
年間配水量(m^3)	8,115,533	8,113,477	2,056
年間給水量(m^3)	7,372,437	7,245,336	127,101
有収水量率(%)	90.84	89.30	1.54
給水原価・税抜(円/ m^3)	175.54	178.68	△ 3.14
供給単価・税抜(円/ m^3)	152.45	152.18	0.27

給水原価とは1 m^3 の水道水をつくるために使った費用で、前年度より3.14円安くなっています。また、供給単価とは水道水1 m^3 当たりの売上高をあらわすもので、前年度より0.27円伸びています。

これらの指標からも水道事業の経営が好転していると言えます。

企業債の状況

(単位:万円)

区分	平成27年度 末残高	平成28年度 借入額	平成28年度 元利償還額	平成28年度 末残高
水道事業債	97,949	0	3,944	94,005
簡易水道事業債	92,073	5,620	3,258	94,435
計	190,022	5,620	7,202	188,440

財政調整基金の状況

(単位:万円)

区分	平成27年度 末残高	平成28年度 取崩額	平成28年度 積立額	平成28年度 末残高
水道事業会計	182,422	13,500	61,119	230,041
簡易水道事業特別会計	532	532	0	0
計	182,954	14,032	61,119	230,041

水道施設を建設するために、財務省や地方公共団体金融機構から借りた企業債の平成28年度末残高は、18億8,440万円となっています。また、簡易水道事業債の元利償還金のうち、約55%が国からの財政支援として、普通交付税に算入されています。

平成29年4月1日に簡易水道事業特別会計を水道事業に統合し、簡易水道事業特別会計の財政調整基金を廃止しました。水道事業会計の財政調整基金は、平成28年度末で23億41万円の残高となっています。



用地造成工事



ステンレス製・容量1,700m³の配水池を築造しています。

【山城高区配水池更新事業の進捗状況】

H26 基本設計

H27 実施設計・用地取得

H28 用地造成工事

H29 本体工事 3月完成予定

財政収支計画との比較

収益的収支・税込

(単位:万円)

項目	平成28年度 決算	平成28年度 計画	比較	平成29年度 計画	平成30年度 計画	平成31年度 計画	平成32年度 計画	
収入	水道料金	121,375	119,098	2,277	123,278	124,658	127,316	130,222
	水道料金(簡水)				2,273	2,250	2,249	2,247
	手数料	608	446	162	446	446	526	526
	下水道負担金	6,538	6,698	△ 160	6,698	6,698	6,698	6,698
	他会計負担金	1,321	1,102	219	179	179	179	179
	一般会計負担金(簡水)				2,327	2,895	3,134	3,129
	財政調整基金繰入金	13,500	13,500	0	11,000	8,500	5,500	0
	長期前受金等戻入額	28,923	31,497	△ 2,574	35,578	38,393	38,011	37,461
	長期前受金等戻入額(簡水)				1,104	1,078	1,064	1,059
	その他(広告収入等)	531	427	104	377	378	378	378
支出	その他(簡水)				665	0	0	0
	計	172,796	172,768	28	183,925	185,475	185,055	181,899
	職員人件費	15,390	15,935	△ 545	16,043	16,152	16,262	13,302
	動力費	11,422	12,472	△ 1,050	12,910	13,055	13,333	13,637
	動力費(簡水)				505	500	500	499
	薬品費	457	438	19	453	458	468	479
	受水費	43,296	43,399	△ 103	45,100	45,178	45,865	42,858
	検針委託料	2,284	2,183	101	2,198	2,222	1,107	1,160
	修繕料	5,735	6,018	△ 283	6,018	6,018	6,073	6,129
	修繕料(簡水)				250	250	252	255
差引	支払利息	2,115	2,115	0	2,066	2,132	1,976	1,810
	支払利息(簡水)				1,540	1,493	1,441	1,384
	減価償却費	70,479	73,667	△ 3,188	76,146	76,476	76,297	75,827
	減価償却費(簡水)				4,596	4,472	4,417	4,369
	貸倒引当金	998	998	0	1,000	1,000	1,000	1,000
	その他(施設維持費等)	14,956	14,954	2	14,552	15,531	15,550	18,721
	その他(簡水)				199	198	199	200
	計	167,132	172,179	△ 5,047	183,576	185,135	184,740	181,630
	差引	5,664	589	5,075	349	340	315	269

資本的収支・税込

(単位:万円)

項目	平成28年度 決算	平成28年度 計画	比較	平成29年度 計画	平成30年度 計画	平成31年度 計画	平成32年度 計画
収入	加入金	14,195	11,081	3,114	10,130	10,130	12,055
	工事負担金	3,955	5,218	△ 1,263	3,000	3,000	3,000
	一般会計出資金	2,957	3,830	△ 873	10,959	3,000	0
	国庫補助金	402	621	△ 219	1,336	0	0
	開発分担金等	61,119	2,000	59,119	1,500	1,000	0
	企業債	0	8,670	△ 8,670	21,190	0	0
計		82,628	31,420	51,208	48,115	17,130	15,055
支出	建設改良費	44,924	60,750	△ 15,826	64,500	37,500	37,800
	企業債償還金	3,944	3,945	△ 1	5,693	6,464	6,615
	企業債償還金(簡水)				2,684	2,996	3,483
	財政調整基金積立金	61,119	2,000	59,119	1,500	1,000	0
	計	109,987	66,695	43,292	74,377	47,960	47,898
差引		△ 27,359	△ 35,275	7,916	△ 26,262	△ 30,830	△ 32,843
※資本的収支の差額は、過年度留保資金等で補てんします。							
※(簡水)簡易水道事業特別会計は、平成29年4月に水道事業会計へ統合しました。							
※平成31年度下半期から消費税率を10%としています。							

※資本的収支の差額は、過年度留保資金等で補てんします。

※(簡水)簡易水道事業特別会計は、平成29年4月に水道事業会計へ統合しました。

※平成31年度下半期から消費税率を10%としています。

京都府営水道について、ご存じですか？

府営水道が持つトリプルスリー

宇治川・木津川・桂川（3川）から取水した水を、それぞれ宇治・木津・乙訓浄水場（3浄水場）で浄水処理を行い、3浄水場の送水管路を久御山広域ポンプ場を中心に接続し3浄水場間で水道水を相互融通（3Q（サンキュー）水運用）しながら、受水市町に水道水を供給しています。

この府営水道の特徴（トリプルスリー）を活用し、ライフラインの安心・安全を支えています。

府営水道の特徴 (トリプルスリー)

3川

河川で発生する危害（リスク）を分散

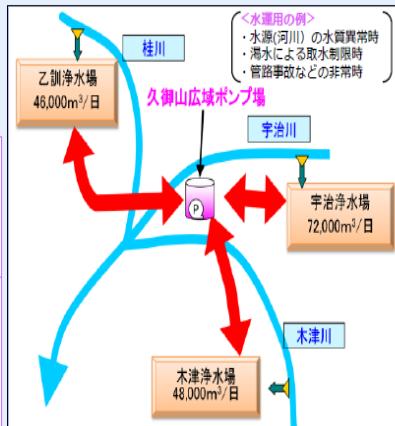
3浄水場

運転方法等において工夫を重ねながら、3川の水質に応じた浄水処理を適切に実施

3Q水運用

水運用において安定した水質を確保（Quality）し、全施設一体となって水融通を行い水量を確保（Quantity）するとともに、非常時の水運用に速やかに移行できる体制を構築（Quick response）し、受水市町へ安定的に水道水を供給

Quality（質）、Quantity（量）、Quick response（迅速）



京都府営水道は、京都府が経営する水道事業です。

木津・宇治・乙訓の3つの浄水場で、1日最大166,000m³の水道水をつくり、京都府南部の10市町に供給しています。木津川市では、木津浄水場でつくられた水道水を1日最大13,000m³受水し、木津地域へ供給しています。

また、木津・宇治・乙訓の3つの浄水場と久御山広域ポンプ場が送水管で接続され、緊急時には京都府南部で水を融通することができるようになっていて、災害に備えています。



【木津浄水場】

木津川から取水し、1日最大48,000m³の水道水をつくりています。

編集・発行

木津川市上下水道部水道業務課
TEL:0774-75-1250